

第25回雲南市下水道事業に関する審議会 議事録

1. と き：令和2年10月27日（火） 午後1時25分～午後3時35分

2. ところ：木次町里方 雲南市役所『全員協議会室』

3. 出席者

（審議会委員）

金山壽忠 会長、田部昌典 副会長、細川康男 委員、内田和信 委員、坂田和子委員、
勝部新治 委員、若槻 徹 委員、片寄健治 委員、藤原文雄 委員、板持保吉 委員
・・・（委員10名）

欠席者 田中和子 委員、木村守登 委員（委員2名）

（事務局）

藤井 勤 副市長、細木弘志 水道局長、飯島 昭 次長（総務課長）、村重悦子 総務課企画官、
難波修二 営業課長、内田俊行 下水道課長、加藤美穂 主幹
・・・（事務局7名）

4. 審議日程

（1）開会

（2）辞令交付

（3）副市長あいさつ

（4）委員紹介並びに事務局職員の紹介

（5）会長、副会長の選出

（6）会長、副会長あいさつ

（7）雲南市下水道事業に関する審議会について

（8）審議

○下水道事業の実施状況について

- ・下水道事業の概要について
- ・雲南市下水道事業の整備状況について
- ・下水道会計予算について
- ・下水道の接続戸数等の状況・推移について
- ・下水道事業の課題について

○令和元年度生活排水処理事業特別会計決算等の状況について

- ・決算の状況について
- ・下水道使用料の収納状況について
- ・令和元年度の下水道事業の状況について

○令和2年度の状況について

- ・経営状況について
- ・主要事業の進捗状況について

○下水道使用料の現状及び課題について

- ・下水道使用料について
- ・下水道使用料算定の考え方について

（9）その他

(10) 閉会

[次 第]

1. 開会
2. 辞令交付
3. 副市長あいさつ
4. 委員紹介並びに事務局職員の紹介
事務局職員の自己紹介を行った。
5. 会長、副会長選出
雲南市下水道事業に関する審議会条例第4条第1項に基づき、委員の互選により選出
審議会会長に 金山壽忠
審議会副会長に 田部昌典 を選出した。
6. 会長、副会長あいさつ
金山壽忠 審議会会長及び
田部昌典 審議会副会長よりあいさつを受けた。
7. 雲南市下水道事業に関する審議会について
雲南市下水道事業に関する審議会条例により、審議会の目的所掌式等役割について説明を
行った。

雲南市下水道事業に関する審議会条例第6条第2項に基づき、委員の半数以上が出席して
おり会議が成立していることを報告

----- 以後、審議会条例第6条第3項に基づき、会長が議長となる -----

8. 審議

(1) 下水道事業の実施状況について

- ①下水道事業の概要について
- ②雲南市下水道事業の整備状況について
- ③下水道会計予算について
- ④下水道の接続戸数等の状況・推移について
- ⑤下水道事業の課題について

事務局より説明した後、委員からの質疑を行った。

【質疑】

(委員) 資料 NO. 4-2 の数値は、年間の水量なのか。

(事務局) 平成31年3月の1か月分の使用水量実績である。

(2) 令和元年度生活排水処理事業特別会計決算等の状況について

- ①決算の状況について
- ②下水道使用料の収納状況について
- ③令和元年度下水道事業の状況について

事務局より説明した後、委員からの質疑を行った。

質疑なし

(3) 令和2年度の状況について

①経営状況について

②主要事業の進捗状況について

事務局より説明した後、委員からの質疑を行った。
質疑なし

(4) 下水道使用料の現状及び課題について

①下水道使用料について

②下水道使用料算定の考え方について

事務局より説明した後、委員からの質疑を行った。

【質疑】

(委員) 平成30年度全国平均の公共下水道使用料は、島根県内8市の下水道使用料と対比できるのか。また、水道料金も同じ考え方なのか。

(事務局) 雲南市は公共下水道、農業集落排水施設、合併処理浄化槽の料金を統一している。島根県内7市についても公共下水道の使用料を記載しており、参考にある公共下水道と比較できる。水道料金についても同様の考え方であり比較できる。

(委員) 自治体によって、基本使用料に8m³と10m³の違いがある。基本使用料をどちらかの基本使用料に統一した場合、県内の順位はどうなるのか。

(事務局) 自治体によって、基本使用料は異なる。基本使用料をいずれかに統一し比較することは難しい。統計などでも水量20m³に対しての使用料金比較が一般的となっている。

----- 審議終了 -----

9. その他

その他事項なし

10. 閉会

水道局長あいさつ